

# 仕 様 書

定山溪二見公園樹木診断業務については、以下のとおりとし、併せて札幌市（以下「委託者」という。）と本業務の委託を受ける者（以下「受託者」という。）との間に必要な事項を定める。

- 1 業務名  
定山溪二見公園樹木診断業務
- 2 業務場所  
定山溪二見公園（札幌市南区定山溪温泉西4丁目）
- 3 履行期間  
契約年月日から令和8年9月30日まで。
- 4 業務内容  
定山溪二見公園の樹木調査及び植栽図作成を行うとともに、樹木診断を行う。
  - (1) 樹木調査
    - ・ 樹木診断（対象範囲約2,580㎡）
    - ・ 指定するエリア内樹木の診断を行う。
    - ・ 対象位置は別紙1「樹木診断範囲」参照。
    - ・ 調査対象樹木にビニール製ナンバーテープを地上1.5mに付けること。テープのナンバーは1から開始すること。
    - ・ 中高木については、別紙2のExcelシートに記載している項目について調査し、総合評価（健全、要観察、危険）すること。
      - 樹高、幹周等：樹高、胸高幹周、直径
      - 容姿診断：樹形、枝の枯損・折れ、葉の色
      - 健全度：腐朽、キノコ、木槌診断、病害虫、幹振動・根元の揺らぎ、鋼棒貫入
    - ・ 低木については、樹種、樹高、健全度を調査し、本数については概数（約〇本）とし、Excelシートを作成すること。
    - ・ 調査した樹木については、ナンバー毎に全景の写真をカメラで撮影すること。
    - ・ 低木については、エリア毎にカメラで撮影すること。
    - ・ 写真については、別紙3の樹木写真帳に整理すること。
    - ・ 危険木は、危険と判断した原因が分かる写真をカメラで撮影すること。
    - ・ 危険木については、樹木に附番したナンバーと状況について、委託者に報告すること。
  - (2) 植栽図の作成
    - ・ 中高木については、調査した樹木の位置、樹種及び健全度について、委託者から提供される図面に○で示し、樹木に附番したナンバーを記入すること。
    - ・ 植栽図には、樹木の健全度（健全、要観察、危険）が分かるよう色分けして表示すること。
    - ・ 低木については樹木の位置及び樹種をCAD図面に雲形で示し、樹木に附番したナンバーを記入すること。
    - ・ 詳細については、委託者と協議を行い決定すること。
  - (3) 上記(1)及び(2)をもとに、樹木管理方針について提案するとともに報告書を作成すること。なお、報告書等の納入成果品の提出に加え、委託者と協議のうえ7月上旬を目途に簡易な中間報告書等を作成すること。

(4) 診断基準

容姿診断・健全度診断については次の基準によりランクを定める

ア 容姿診断基準

診断項目	樹木の見方	ラ ン ク			
		1	2	3	4
樹形	樹幹の傾斜, 曲がりの有無等全体が自然樹形か	自然樹形である幾分乱れている	かなり乱れている	著しく乱れている	自然樹形でない
梢頭枝の枯損・折れ	枯枝の有無	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	枯死している
枝葉の密度	樹木全体の枝葉密度のバランスがとれているか	全体に密、一部疎	全体にやや疎	著しく疎	着葉が見られない
葉の色、形、大きさ	健全木と比較した場合	正常、幾分悪い	かなり悪い	著しく悪い	葉が縮み変色している
病虫害	病状, 害虫の出現	病虫害の疑いがある	被害が確認できる	被害が著しい	枯死、枯死にちかい
剪定	樹冠を整える剪定が適切か	適度の剪定	強度の剪定	著しい剪定	主幹が切断されている

※ 灰色部分はサクラの樹木診断にのみ適用

イ 健全度診断基準

(ア) 腐朽・傷

診断項目	ラ ン ク			
	1	2	3	4
腐朽	・腐朽が認められない	・腐朽が初期段階で幹の浅い部分にとどまっている ・腐朽が生長に影響がある	・腐朽が幹周の1/3程度の広がりである ・腐朽が幹径の1/3程度の深さである ・腐朽が生長に著しく影響がある	・腐朽が幹周の1/2以上の広がりであり末期症状である ・根茎全体の腐朽が著しい ・風により倒木の恐れがある
傷	・傷がない ・傷があっても小さい(1~2個)	・傷が大きい ・小さい傷が多い ・傷が深い ・傷が生長に影響がある	・傷が幹周の1/3程度の広がりである ・傷が幹径の1/3程度の深さである ・傷が生長に著しく影響がある	・傷が幹周の1/2以上の広がりである ・傷が幹径の1/2以上の深さである ・根切れ等により傾斜が20度以上ある ・倒木の恐れがある

※ 灰色部分はサクラの樹木診断にのみ適用

(イ) キノコ、木槌診断等

診断項目	ランク		2の場合、備考に記入する内容
	1	2	
キノコ	なし	あり	予想される種類・位置・程度
木槌診断（異常音）	なし	あり	心材部の空洞を判定し、位置と程度
病害虫 （胴枯、虫穴等）	なし	あり	胴枯病などの種類および位置と程度 虫穴・虫フン・ヤニ 穿孔虫の種類及び位置と程度
幹を揺らした時の 根元の揺らぎ	なし	あり	根元の揺らぎと危険性の程度
鋼棒貫入異常	なし	あり	根株腐朽・空洞などの位置と程度

ウ 総合評価

容姿診断、健全度診断の結果を総合的に判断し、次の3ランクに分けて評価する。

評 価	内 容
健 全	・ 樹幹・枝条に剥皮などの損傷があっても、軽微で範囲が小さい ・ 腐朽が認められない
要 観 察	・ 損傷程度が幹周の1/3程度の広がり、もしくは幹径の1/3程度の深さである ・ 腐朽程度が幹周の1/3程度の広がり、もしくは幹径の1/3程度の深さである ・ 樹勢の衰えが著しい
危 険	・ 損傷程度が幹周の1/2程度の広がり、もしくは幹径の1/2程度の深さである ・ 腐朽程度が幹周の1/2程度の深さで、末期腐朽状態である ・ 地下部の根茎全体が末期腐朽状態である ・ 放置すれば倒木の危険がある

5 従事者要件

一般財団法人日本緑化センターが認定する樹木医の資格を有し、かつ資格登録が失効中ではない者を直接雇用しており、かつ業務従事者に含めること。

6 業務着手届

受託者は、業務を着手したときは業務着手届（別紙4）を委託者へ提出すること。

7 主任技術者

受託者は、業務履行のため、主任技術者を指名し、業務着手届と同時に、主任技術者指定通知書（別紙5）、経歴書（別紙6）及び直接的かつ恒常的な雇用関係が証明できる書類を提出しなければならない。

8 業務日程表

受託者は、業務着手届日までに、業務日程表を委託者へ提出すること。また、何らかの事由により日程に重要な変更が生じたときも同様とする。

9 納入成果品及び業務完了届

受託者は、当該業務を完了したときは、遅滞なく以下の書類を提出しなければならない。

(1) 納入成果品

報告書（樹木調査結果含む）	1部
植栽図（A0出力）	1部
CD又はDVDデータ	1部

- ・ 報告書についてはword形式及びPDF形式で作成し提出すること。
- ・ 樹木調査結果については（別紙2）のExcelシートで作成し提出すること。
- ・ 写真については（別紙3）の樹木写真帳に整理し提出すること。

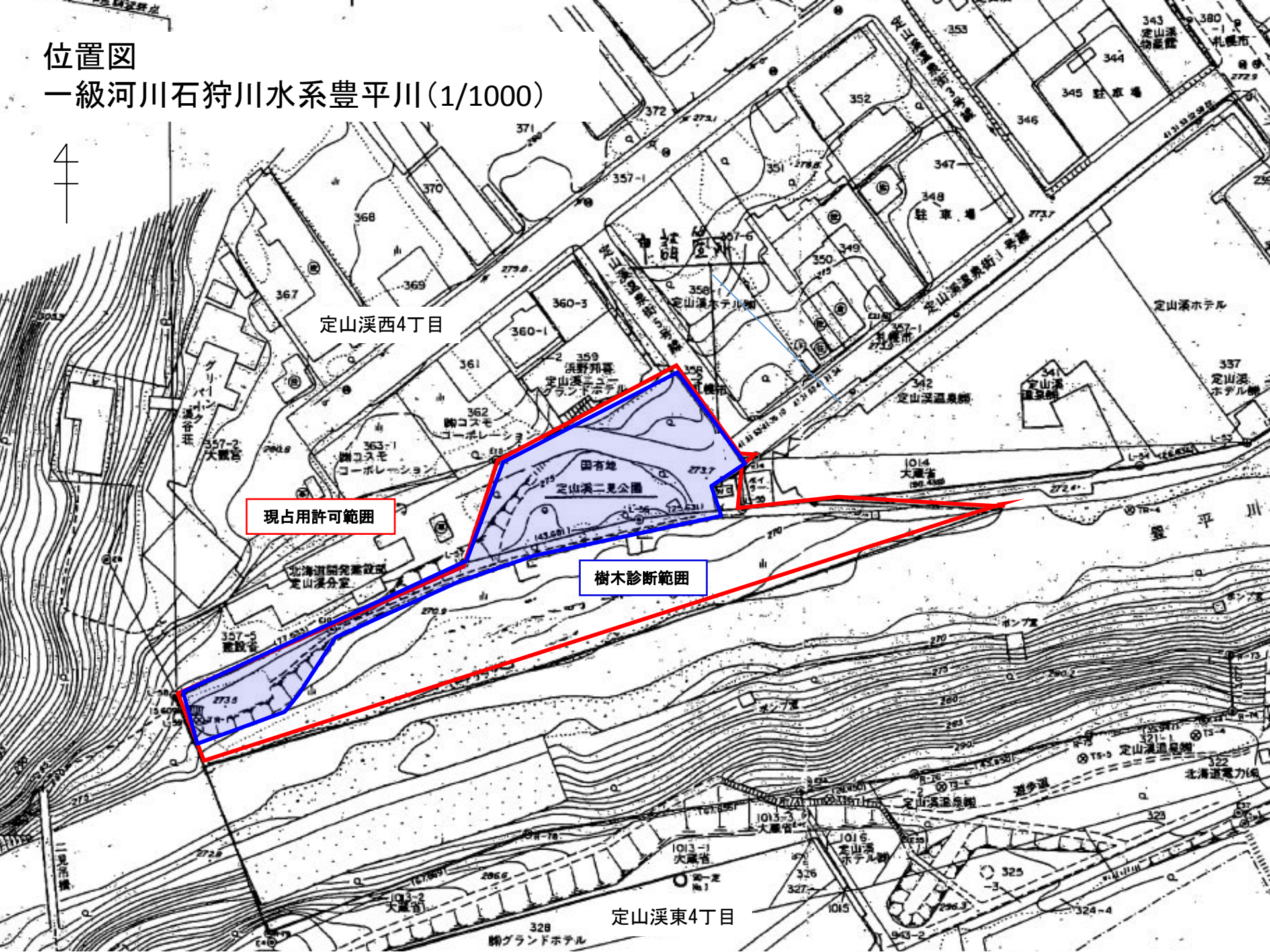
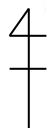
- ・ 植栽図はCADで作成し、DWG形式及びPDF形式で提出すること。
- (2) 業務完了届（役務－第9号様式）

#### 10 その他

- (1) 業務遂行上知り得た秘密については、他人に漏らさないこと。
- (2) 現地での診断、作業にあたっては、労働安全衛生法、道路交通法、その他関係法令を遵守し、常に公衆および作業員の安全確保を最優先すること。
- (3) 業務等に疑義が生じた場合は、適宜、委託者と協議のうえ決定すること。

# 位置図

## 一級河川石狩川水系豊平川(1/1000)



定山溪西4丁目

現占用許可範囲

樹木診断範囲

定山溪東4丁目



# 樹木写真帳

令和 8 年度

業務名

定山溪二見公園樹木診断業務

業務箇所

定山溪二見公園

着手

令和 年 月 日

完了

令和 年 月 日

受託者

No.1

写真

No.2

写真

No.3

写真

課 長	係 長	係

## 業 務 着 手 届

年 月 日

(あて先) 札幌市長

受託者 所在地  
名 称

印

業務名 定山溪二見公園樹木診断業務

上記業務は、 年 月 日着手したのでお届けします。

上記業務を着手したことを認める。

業務員

印

## 主任技術者指定通知書

<b>主任技術者指定通知書</b>		
年 月 日		
(あて先) 札幌市長		
受託者 所在地		
名 称		
印		
業 務 名		
定山溪二見公園樹木診断業務		
上記業務に係る主任技術者を次のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて通知します。		
区 分	氏 名	備 考
主任技術者		

- ・ 技術者の配置については仕様書を参照し適正に行うこと。
- ・ 請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係を確認できる書類の写し等を添付すること。
- ・ 提出部数 1部
- ・ 提出先 業務員
- ・ 提出期限 着手届と同時に

## 主任技術者の経歴書

主任技術者経歴書			
現住所			
氏名		生年月日	昭和・平成 年 月 日生
最終学歴	卒業年月	学校名	専攻科目
	昭和・平成・令和 年 月		
職歴	昭和・平成・令和 年 月	入社	
	昭和・平成・令和 年 月	入社	
技術資格	昭和・平成・令和 年 月	取得№	
	昭和・平成・令和 年 月	取得№	
主要業務 経歴	業務名	受託金額(千円)	業務期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
上記のとおり相違ありません。			
年 月 日			
氏名		印	

- 最終学歴は、小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校の内いずれかを記入し、専修学校、各種学校は記載しないこと。